

次世代育成
支援事業

未来のパパ、ママ集まれ！ 乳幼児と一緒に遊ぼう♪

近年、少子化が進み、乳幼児と接する機会の少ない子どもが増えていて、『初めて抱っこする赤ちゃんが、わが子』になるケースは、珍しくありません。

札幌市では、小・中学生や高校生を対象に、乳幼児とのふれあいや子育てに関するさまざまな体験の機会を提供しています。こうした体験は、将来、子育てをしていく上で貴重な経験になります。

今月は、乳幼児とのふれあいを通じ、ふれあうことの楽しさや命の尊さ、男女が共に育児に関わることの大切さなどを伝える“次世代育成支援事業”について、手稲区での取り組みを紹介します。

このページに関するお問い合わせは **健康・子ども課 子育て支援係 ☎ 681-2400 (内線 551)**

赤ちゃんってすごい！

学校の授業の一環で、赤ちゃんとそのお母さん、児童（生徒）たちがふれあう場です。

最初に、お母さんや保育士から教わりながら、生後3～6カ月の赤ちゃんをあやしたり、抱っこしたりして、ふれあいを楽しみ、数カ月後、同じ赤ちゃんとの再会。

同じ赤ちゃんとの2回ふれあうことで、赤ちゃんの成長の早さや親子の絆の深さなどを感じることができるプログラムです。

また、赤ちゃんの親にとっても児童や生徒を身近に感じることで、わが子の未来の姿を想像し、現在の育児の大切さを再確認する機会となっています。

(平成23年度実施校：富丘小、星置東小、前田北中、手稲西中)

参加した赤ちゃんのお母さんたちの声

- ・赤ちゃんを一生懸命あやす姿がほほ笑ましかった。
- ・子どもを大事に思う親の気持ちを分かってほしい。
- ・今回体験したことが、将来親になった時の支えになってくれればうれしい。



▲かわいいなあ～
フニャフニャ柔らかくて、気持ちいい！でも意外と重いな…



▲赤ちゃん、どのおもちゃが好きかな？



▲こんにちは♪こっち見て～



▲私もこんなに小さかったんだね。お母さん、毎日大変だったんだろうな。



▲立てるようになったんだあ～
ずいぶん大きくなったね。

5カ月後…